

国道230号定山溪拡幅 4車線開通後の整備効果について

交通混雑の緩和や観光の活性化に寄与

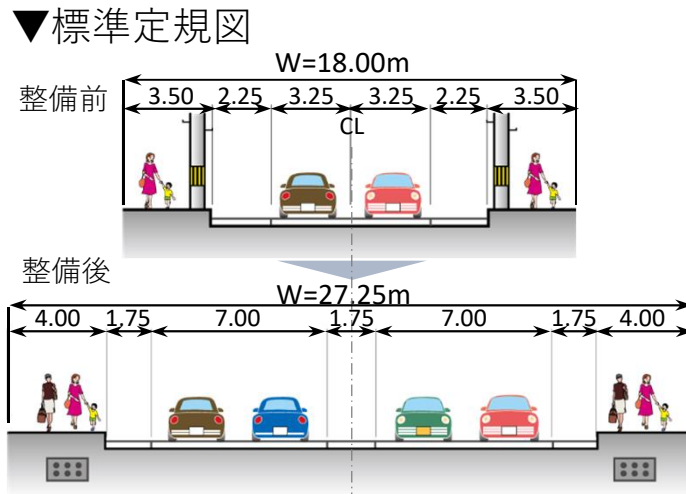
共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画



北海道開発局ホームページへはこちらから。

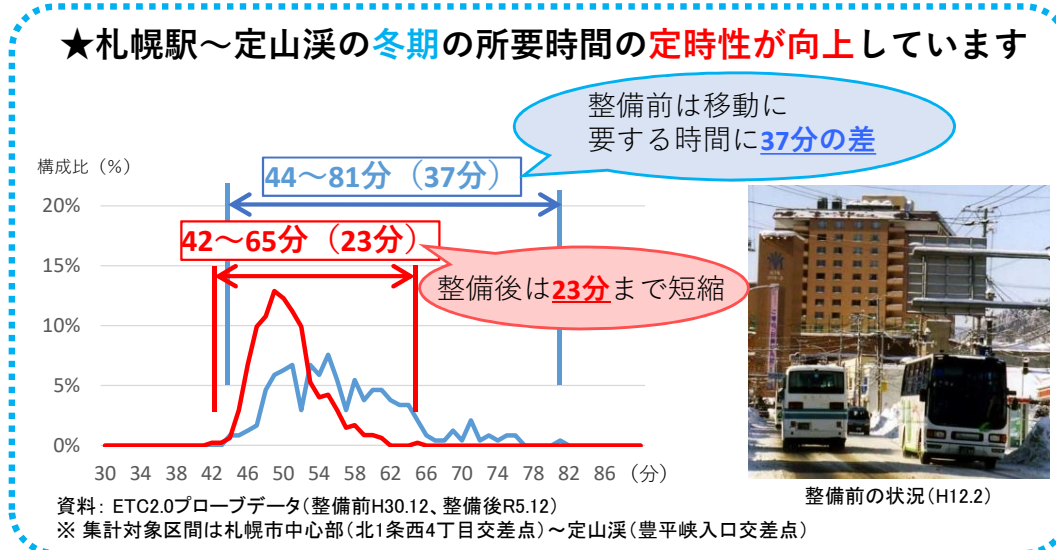
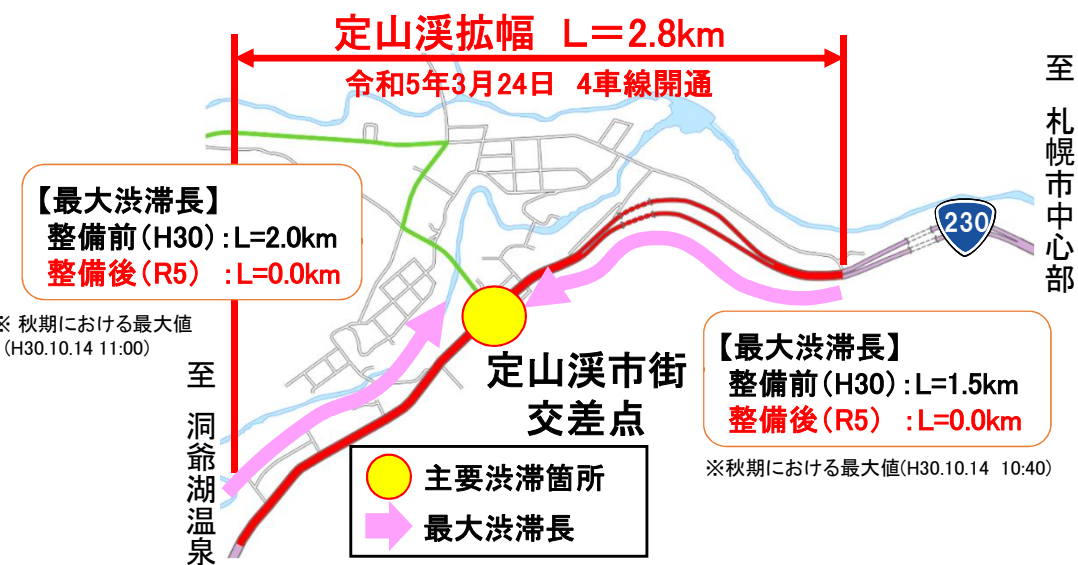
国道230号定山溪拡幅 事業概要

○国道230号は、北海道の中核都市である札幌市を起点とし、せたな町に至る延長約150kmの幹線道路です。
○定山溪拡幅は、札幌市中心部と道内屈指の温泉街である定山溪温泉や洞爺湖温泉を結ぶ区間で発生する慢性的な交通混雑を緩和し、道路交通の定時性、安全性の向上を図ることを目的とした4車線拡幅事業であり、令和5年3月に開通しました。



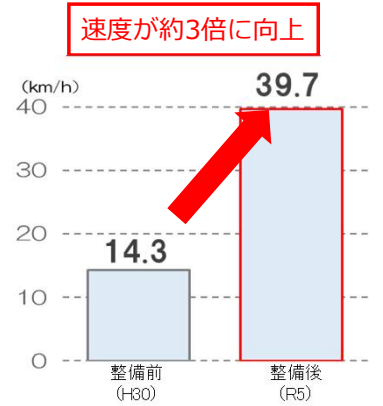
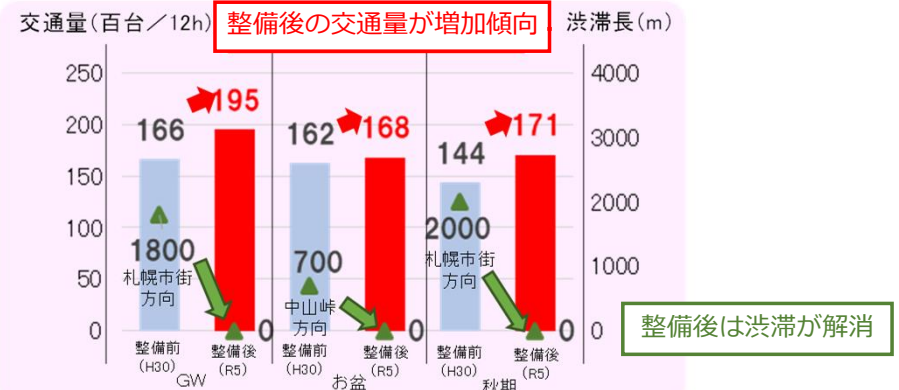
定山溪拡幅 4車線拡幅による混雑の緩和

○定山溪拡幅の開通後、GW、お盆及び10月の紅葉時期に交通量観測調査を実施したところ、いずれの時期においても渋滞は発生せず、交通量の増加や旅行速度の向上も見られました。
○さらに、冬期の所要時間のバラツキは整備前37分ありましたが、整備後は23分に縮まり定時性も向上しました。



★交通量が増加していますが、渋滞は発生していません。

★旅行速度が向上しています



整備前の混雑期は渋滞により定時運行に支障をきたしていました。整備後はGWやお盆等の大型連休や秋期においても渋滞は見られず、概ねダイヤ通りに運行できており、大変助かっています。

また、整備前の冬期は堆雪により車線幅員がさらに狭くなり、走行性が悪化していましたが、整備後は片側2車線になることで走行性が確保されています。

資料：札幌開発建設部調査結果
GW(整備前H30.5.5 16:20、整備後R5.5.3)、お盆(整備前H30.8.11 8:10、整備後R5.8.14)、
秋期(整備前H30.10.14 11:00、整備後R5.10.9)
※交通量、渋滞長調査は7:00～19:00の調査結果。整備前の時刻は最大渋滞長が発生した時刻

資料：ETC2.0プローブデータ(整備前 H30.10、整備後 R5.10)



定山溪拡幅 国道利用者からの声

○定山溪拡幅の開通により、国道230号を利用する様々な方から、「事故リスクが低下した」、「混雑期においても顕著な渋滞は見られず、円滑な救急活動が可能になった」、「トラックドライバーの負担軽減につながっている」、「バスの遅延がなくなった」、「国道の街並みが綺麗になった」等といった声を頂いております。



整備前の状況(H20.10)



整備前の状況(H22.2)



整備前の状況(H29.8)



整備後の状況(R6.4)

整備前の片側1車線の時は道路幅が狭く、一般車の救急車への追突や、隊員の乗降車時の人身事故のリスクが高い状況でしたが、整備後は道路幅が広くなって事故のリスクが低くなり、安全な救急活動ができるようになっていました。

また、GW等の混雑期においても顕著な渋滞は見られず、概ね通常時と同程度の所要時間で搬送できており、円滑な救急活動が可能になっています。

R5.10 消防署職員

整備前の冬期は堆雪により車線幅員がさらに狭くなり、走行性が悪化していましたが、整備後は片側2車線になることで走行性が確保されており、冬期においても定時性が確保されています。

R6.2 バス事業者

片側2車線化によって交通の流れが良くなることは、トラックドライバーの負担軽減につながっている。

R5.6 農業協同組合職員

定山溪拡幅の整備後は、バスの遅延が発生しなくなり、時間に追われるストレスがほとんどなく運行できるようになったと聞いている。

R5.8 バス事業者

整備前は、渋滞時の追突なども多く発生し、運行ダイヤの乱れにつながっていましたが、整備後は、事故により運行ダイヤが遅延するといったことはおきておらず、走行性・安全性ともに向上しています。

R5.10 バス事業者

電線類も地中化され植樹樹も整備されたことで、観光客を迎え入れる国道の街並みが綺麗になったと思います。

R5.10 定山溪地区ホテル従業員

定山溪拡幅整備前は渋滞によるバスの遅延で、チェックインが遅れることは頻繁にありましたが、整備後はチェックインに遅れることはなくなりました。

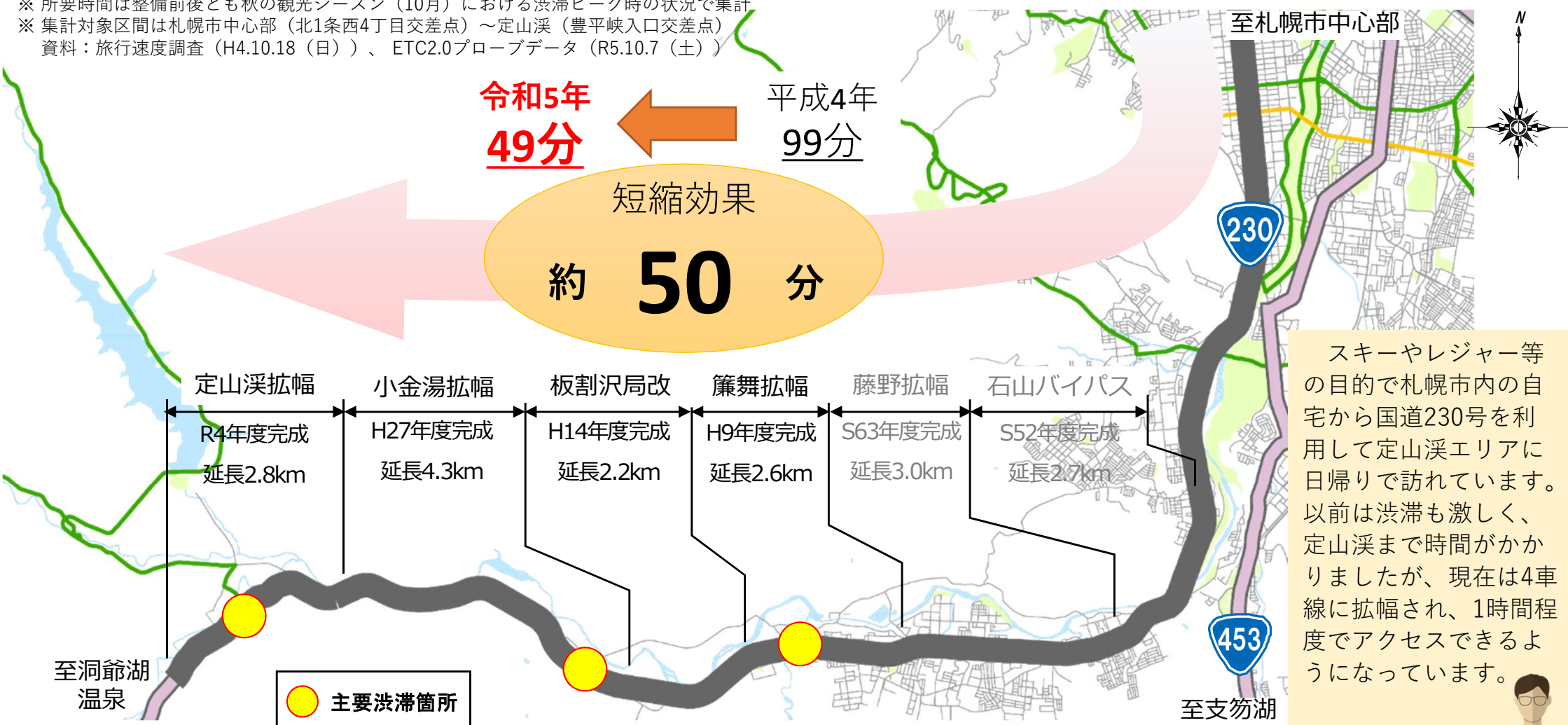
R5.10 定山溪地区ホテル従業員

(参考) 定山溪国道 4車線拡幅整備の歴史

みすまい

- 簾舞拡幅の整備から約30年、国道230号定山溪拡幅の開通によって、札幌市中心部から定山溪までの4車線化が完了しました。
- 平成4年では定山溪まで99分掛かっていたのが、令和5年では49分となり、約50分の短縮効果が得られました。

※ 所要時間は整備前後とも秋の観光シーズン（10月）における渋滞ピーク時の状況で集計
※ 集計対象区間は札幌市中心部（北1条西4丁目交差点）～定山溪（豊平峡入口交差点）
資料：旅行速度調査（H4.10.18（日））、ETC2.0プローブデータ（R5.10.7（土））



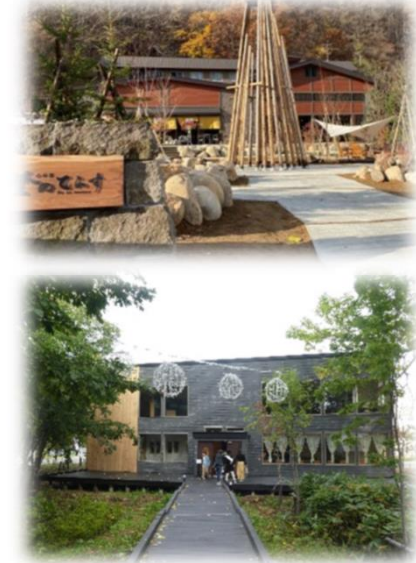
(参考)沿線地域の観光活性化を支援

- 近年では、宿泊施設等の新規立地やリニューアルオープンが増えています。
- 定山溪観光協会の職員の方からも、4車線整備によって、GW、お盆等の大型連休や紅葉時期においても渋滞が解消されて、走りやすくなったとの声を頂いております。
- 定山溪まで大変行きやすくなっておりますので、是非ご利用いただければと思います。



▶近年、宿泊施設等の新規立地・リニューアルオープンが増えています

【新規オープンした商業施設】



【リニューアルオープンした宿泊施設】



今年度は、コロナによる移動制限の緩和等により入込が回復傾向で、定山溪地区でも賑わいが戻りつつあります。整備前は渋滞による車列ができていましたが、4車線整備により大型連休や秋期においても渋滞が解消されたと感じています。

